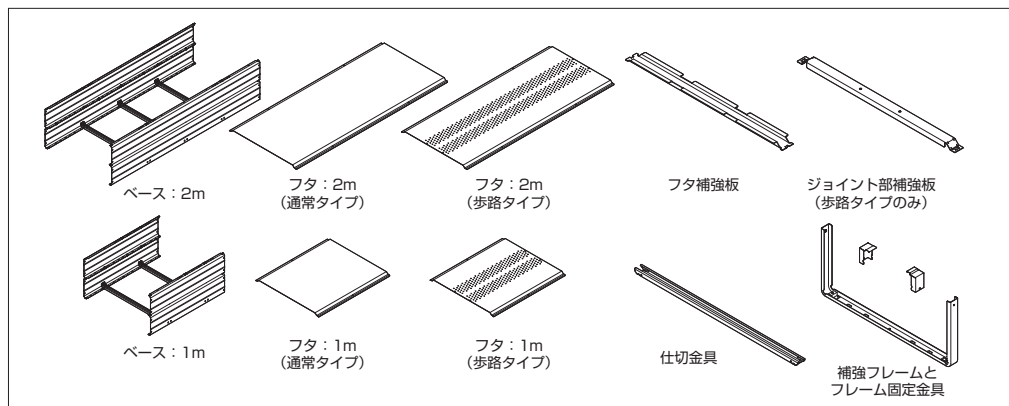


施工手順書

RDダクト(歩路用)

RD-900G / RD-900G-1 / RDW-900G / RDW-900G-1

■セット明細(各部名称)



セットビス明細

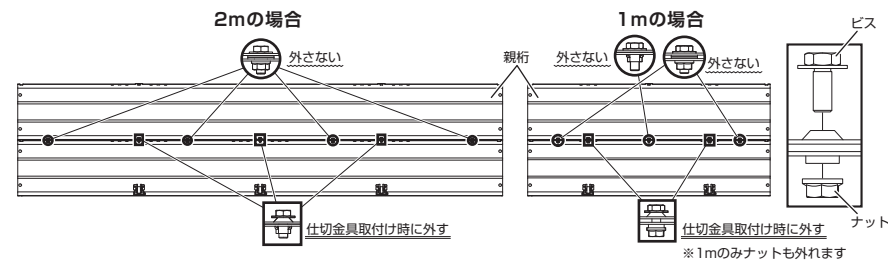
項目	部品名	材質	数量	
			2m ダクト	1m ダクト
ダクト接続用 ビスセット	セムス⊕六角 M6×15L	ステンレス	8	8
	フランジナット M6	ステンレス	8	8
補強フレーム用ビス	セムス⊕六角 M6×15L	ステンレス	8	4
フタ用ビス	セムス⊕六角 M6×15L	ステンレス	4	2

■セット仕様および補強板の取付け位置

	2m ダクト	1m ダクト
通常タイプ		
フタ補強板	3 本	2 本
歩路タイプ		
フタ補強板	4 本	3 本
ジョイント部補強板	1 本	1 本

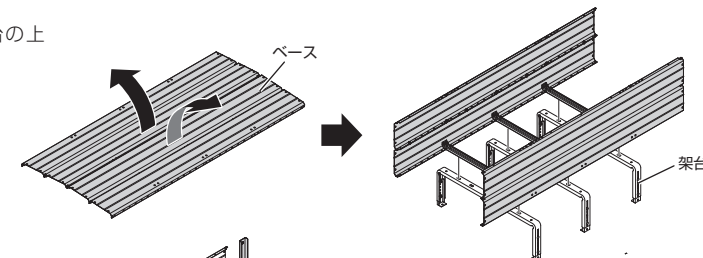
■注意

ダクトベース親桁の上下段を締結しているビスは外さないでください。
万が一緩んでいる場合は、締め付けてください。外すビスに関しては⑥をご参照ください。

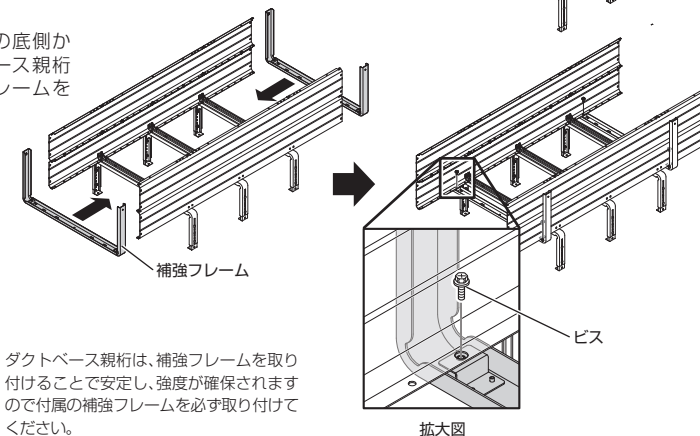


■施工手順

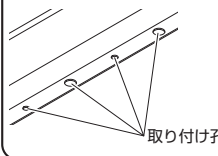
① ダクトベース親桁を開いて、架台の上にダクトベースを仮設置します。



② 補強フレームをダクトベースの底側から挿入してください。ダクトベース親桁の底部の孔に合わせて補強フレームをビスで固定します。

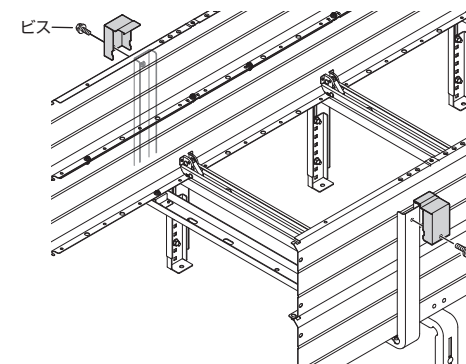
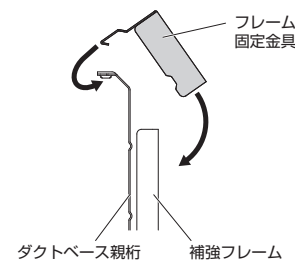


※取付け位置は任意で、底部の孔はどの孔を使用しても問題ありません。



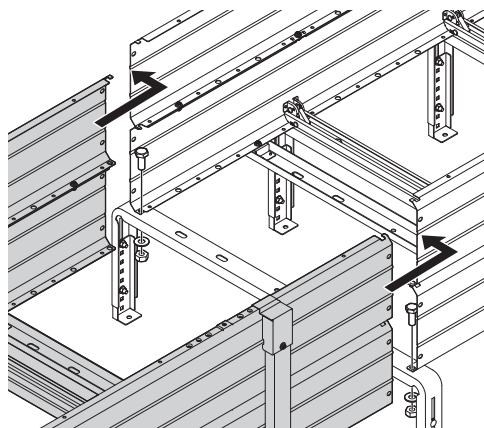
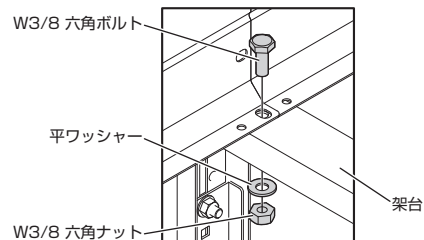
③ ダクトベース親桁は、補強フレームを取り付けることで安定し、強度が確保されますので付属の補強フレームを必ず取り付けてください。

④ ダクトベース親桁の上部にフレーム固定金具を引っ掛けて、補強フレームに取付けます。そのあとビスで固定してください。

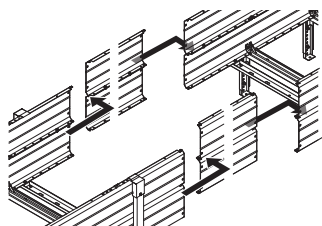


■施工手順

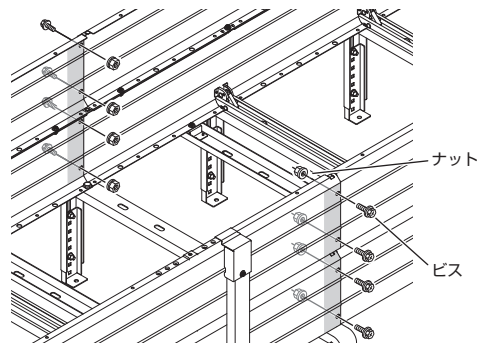
- ④ダクトベース親桁の端部同士が20mmずつ重なるようにはめ込み、ダクトベース親桁底面部の重なった部分をW3/8六角ボルトで架台に固定します。



▶ここで、ダクトベース親桁の重ね方向を接続部ごとに交互にすることで、ダクトの直進性を確保できます。



- ⑤ダクトベース親桁の端部の重なった側面部同士をビス止めします。

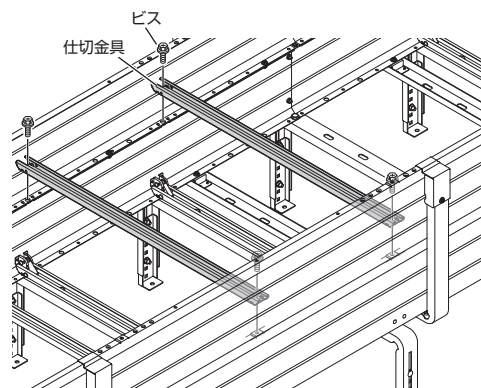
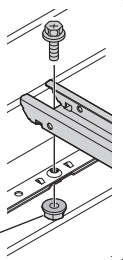


- ⑥1段分の配管を行った後、仕切金具を取り付けます。
取付位置は下段のダクトベース子桁と同じ位置になります。

あらかじめボルトが固定されていますので、取り外して金具を取り付けたあと、取り外したボルトで固定してください。

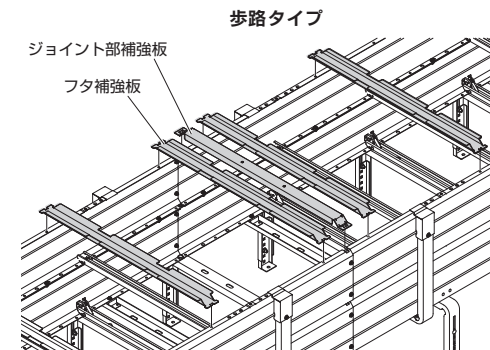
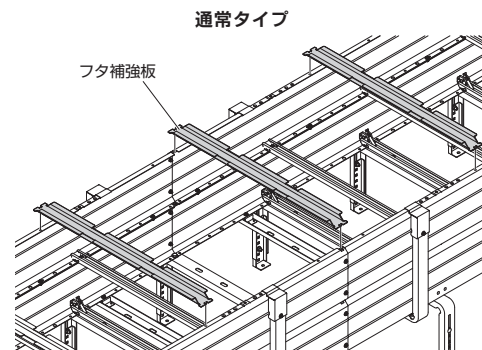
- 1mのダクトは仕切り金具のボルトの裏側にナットがあります。取り外す際、取付けの際はナットを落とさないようにご注意ください。

ナット

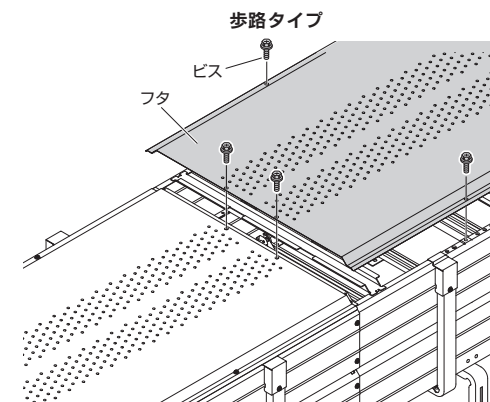
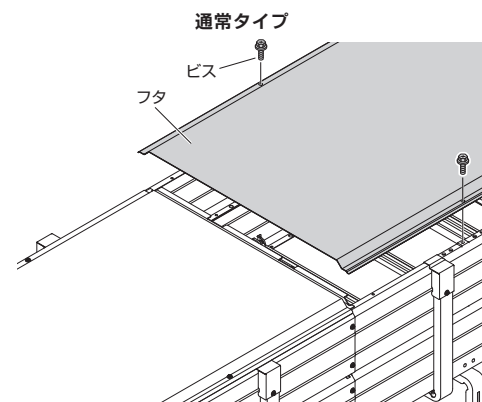


■施工手順

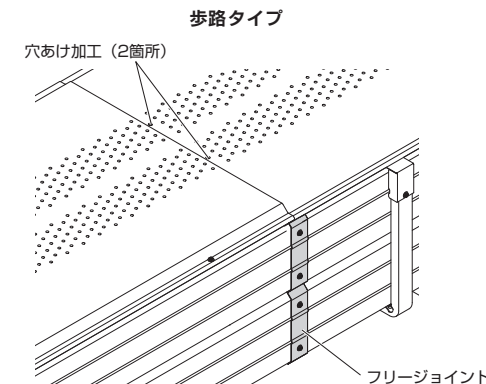
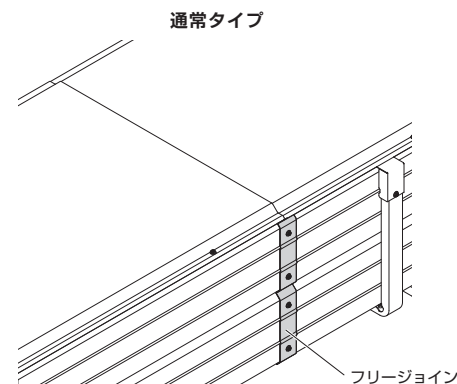
- ⑦上段の配管完了後、各補強板を取り付けます。取付位置は「セット仕様および補強板の取付け位置」を参照してください。接続部分のフタ補強板は、ジョイントレス接続およびフリージョイントを使用する場合に取り付けます。



- ⑧フタを20mm重ねて取り付けてビスで固定して完了です。



- ▶切断を行った場合、フリージョイント(S/Hタイプ)のHタイプを2セット使用することで接続可能です。歩路用の場合は、切断側のフタに接続用の穴(φ11)を開けて固定してください。穴位置は非切断側のフタを一度上に重ね、マーキングして位置出ししてください。



<https://www.inaba-denko.com>

因幡電工カフバー
因幡電機産業株式会社

INABA DENKO
Webサイト



INABA DENKO
営業所一覧

